

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	高崎ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人 有坂中央学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
美容専門課程	国際美容師	夜・通信	1000 時間	160 時間	
	国際ビューティ学科	夜・通信	720 時間	160 時間	
理容専門課程	理容師	夜・通信	600 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公開 (http://www.chuo.ac.jp/tbm/schoolguide/disclosure)
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	高崎ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人 有坂中央学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人本部での閲覧にて公開

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士	R7.5.29～ R11年定時評 議員会終結 の時まで	組織運営体制への チェック機能
非常勤	税理士	R7.5.29～ R11年定時評 議員会終結 の時まで	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社 役員	R7.5.29～ R11年定時評 議員会終結 の時まで	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	高崎ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人 有坂中央学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス <ul style="list-style-type: none"> ①シラバス共通フォーマットの作成 ②教職員及び非常勤講師へ依頼 ③2月末までに提出 ④教務全体で内容を協議 ⑤訂正等がある場合は再依頼 ⑥完成後は新入生への配布並びにホームページへの公開 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ①科目の概要及び方法 ②到達目標（目標検定・資格含む） ③使用教材・教具（テキスト含む） ④成績評価の方法・基準 ⑤履修に当たっての留意点 	
授業計画書の公表方法	http://www.chuo.ac.jp/tbm/schoolguide/disclosure
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価について ・成績評価は各期に実施される定期試験、出席率、普段点（小テスト・レポート・授業態度等）の結果をポイントとして割り出し決められた基準により評価する。 ・評価は5段階で上位よりS, A, B, C, Dとし、D評価は単位を認められない。 ・評価区分のポイントは下記に記載する。なお出席率が80%未満の者は単位取得を認められない。 <p>S評価・・・95～100 A評価・・・79～94 B評価・・・66～78 C評価・・・51～65 D評価・・・0～50</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 客観的な指標として、評定平均を設定する。 <p>【評定平均の求め方】</p> <p>①科目評定を以下に換算（以後、評定換算値という）</p> <p>S 評価・・・4</p> <p>A 評価・・・3</p> <p>B 評価・・・2</p> <p>C 評価・・・1</p> <p>D 評価・・・0</p> <p>②評定平均の計算式</p> <p>評定平均＝科目ごとの評定換算値を合計/科目数</p> <p>③成績判定会議で成績評価が確定後、評定平均を求め、成績の分布状況を把握する。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.chuo.ac.jp/tbm/schoolguide/disclosure
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業認定のプロセス <p>卒業判定一覧（単位不認定・出席率）を基に卒業判定会議にて協議確認及び認定する。会議出席者は学校長・副校長・教務部長・課長・卒年次担任</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業認定の内容 <p>①厚生労働省基準に基づいた単位数の取得者</p> <p>国際美容師学科 2010 時間【67 単位】</p> <p>理容師学科 2010 時間【67 単位】</p> <p>国際ビューティ学科 1860 時間【62 単位】</p> <p>②学校で取得できる資格・検定を一つ以上取得している者</p> <p>③就職内定している者</p> <p>④行事への出席率が 80%以上の者</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://www.chuo.ac.jp/tbm/schoolguide/disclosure

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	高崎ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人 有坂中央学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.chuo.ac.jp/joho.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.chuo.ac.jp/joho.html
財産目録	学園本部窓口にて閲覧
事業報告書	学園本部窓口にて閲覧
監事による監査報告（書）	学園本部窓口にて閲覧

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
衛生		美容専門	国際美容師学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2010 / 67 単位時間／単位	720/ 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1290/ 単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		221 人	0 人	8 人	17 人	22 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業方法：講義・実習 年間の授業計画：シラバス ・プロセス <ul style="list-style-type: none"> ①シラバス共通フォーマットの作成 ②教職員及び非常勤講師へ依頼 ③2月末までに提出 ④教務全体で内容を協議 ⑤訂正等がある場合は再依頼 ⑥完成後は新入生への配布並びにホームページへの公開 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ①科目の概要及び方法 ②到達目標（目標検定・資格含む） ③使用教材・教具（テキスト含む） ④成績評価の方法・基準

成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は各期に実施される定期試験、出席率、普段点（小テスト・レポート・授業態度等の結果をポイントとして割り出し決められた基準により評価する。 ・評価は5段階で上位よりS, A, B, C, Dとし、D評価は単位を認められない。 ・評価区分のポイントは下記に記載する。なお出席率が80%未満の者は単位取得を認められない。 <p>S評価・・・95～100 A評価・・・79～94 B評価・・・66～78 C評価・・・51～65 D評価・・・0～50</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>①卒業認定基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省基準に基づいた単位数の取得者 (国際美容師学科 2010 時間 67 単位) ・行事単位 80%以上 ・学校で取得できる資格、検定を いずれか1つ以上を取得 <p>②進級認定基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省基準に基づいた単位数の取得者 (国際美容師学科 960 時間 32 単位以上) ・必修科目試験合格者 ・行事単位 80%の以上
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人面談、三者面談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
100 人 (100%)	6 人 (6.0%)	94 人 (94.0%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等) ・美容業界			
(就職指導内容) ・面接方法、連絡の取り方、履歴者作成など			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・社会人常識マナー検定、経済記事の読み方検定、美容会計検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
207 人	4 人	1.9%
(中途退学の主な理由) ・他業種希望による進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・早期カウンセリング、個人面談、三者面談		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
衛生		美容専門		国際ビューティ学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1860 / 62 単位時間／単位		570/ 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1290/ 単位時間 ／単位	
				単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
80 人		75 人	0 人	3 人		17 人		20 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業方法：講義・実習 年間の授業計画：シラバス 各技術の習得：ウィッグ、セルフ、相モデルでの施術 各種資格・検定取得、卒業時にTBM技術ディプロマを修得 ・プロセス <ol style="list-style-type: none"> ①シラバス共通フォーマットの作成 ②教職員及び非常勤講師へ依頼 ③2月末までに提出 ④教務全体で内容を協議 ⑤訂正等がある場合は再依頼 ⑥完成後は新入生への配布並びにホームページへの公開 ・内容 <ol style="list-style-type: none"> ①科目の概要及び方法 ②到達目標（目標検定・資格含む） ③使用教材・教具（テキスト含む） ④成績評価の方法・基準
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は各期に実施される定期試験、出席率、普段点（小テスト・レポート・授業態度等の結果をポイントとして割り出し決められた基準により評価する。 ・評価は5段階で上位よりS, A, B, C, Dとし、D評価は単位を認められない。 ・評価区分のポイントは下記に記載する。なお出席率が80%未満の者は単位取得を認められない。 <p>S評価・・・95～100 A評価・・・79～94 B評価・・・66～78 C評価・・・51～65 D評価・・・0～50</p>

卒業・進級の認定基準
(概要) ①卒業認定基準 <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省基準に基づいた単位数の取得者 (国際ビューティ学科 1860 時間 62 単位) ・学校で取得できる資格・検定を一つ以上取得している者 ・就職内定している者 ・行事への出席率が 80%以上の者 ②進級認定基準 <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省基準に基づいた単位数の取得者 (国際ビューティ学科 930 時間 31 単位) ・必修科目試験合格者 ・行事単位 80%の以上
学修支援等
(概要) ・個人面談、三者面談 ・技術が未修達の学生には、補講を行うなどして、レベルアップをはかる。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
34 人 (100%)	0 人 (0.0%)	34 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等) アルビオン、日本ロレアル、コーセー、エステテック T B C、不二ビューティ、 ネイルサロン、美容サロン、ドラッグストア			
(就職指導内容) ・面接方法、連絡の取り方、履歴者作成など ・クラス担任指導、就職指導センターによる就活スケジュールに合わせたセミナー			
(主な学修成果（資格・検定等）) 日本メイクアップ技術検定（3～1 級）、接遇検定、社会人常識マナー検定、 経済記事の読み方検定、アシスタントウェディング検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
76 人	3 人	3.9%
(中途退学の主な理由) ・環境不適合		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・早期カウンセリング、個人面談、三者面談		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
衛生		理容専門	理容師学科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	夜	2010 / 67 単位時間／単位	630/ 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1380/ 単位時間 ／単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40 人		6 人	人	3 人	14 人	16 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） ・授業方法：講義・実習 年間の授業計画：シラバス ・プロセス ①シラバス共通フォーマットの作成 ②教職員及び非常勤講師へ依頼 ③2月末までに提出 ④教務全体で内容を協議 ⑤訂正等がある場合は再依頼 ⑥完成後は新入生への配布並びにホームページへの公開 ・内容 ①科目の概要及び方法 ②到達目標（目標検定・資格含む） ③使用教材・教具（テキスト含む） ④成績評価の方法・基準	
成績評価の基準・方法	
（概要） ・成績評価は各期に実施される定期試験、出席率、普段点（小テスト・レポート・授業態度等の結果をポイントとして割り出し決められた基準により評価する。 ・評価は5段階で上位よりS, A, B, C, Dとし、D評価は単位を認められない。 ・評価区分のポイントは下記に記載する。なお出席率が80%未満の者は単位取得を認められない。 S評価・・・95～100 A評価・・・79～94 B評価・・・66～78 C評価・・・51～65 D評価・・・0～50	
卒業・進級の認定基準	
（概要） ①卒業認定基準 ・厚生労働省基準に基づいた単位数の取得者（理容師学科 2010 時間 67 単位） ・行事単位 80%以上 ・学校で取得できる資格、検定を いずれか1つ以上を取得 ②進級認定基準 ・厚生労働省基準に基づいた単位数の取得者（理容師学科 960 時間 32 単位以上） ・必修科目試験合格者 ・行事単位 80%の以上	

学修支援等
(概要) ・ 個人面談、三者面談

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6 人 (100%)	0 人 (0.0%)	6 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等) ・ 理容業界			
(就職指導内容) ・ 面接方法、連絡の取り方、履歴者作成など			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・ 社会人常識マナー検定、経済記事の読み方検定、美容会計検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・ 早期カウンセリング、個人面談、三者面談		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
国際美容師学科	120,000 円	580,000 円	330,000 円	
国際ビューティ学科	120,000 円	580,000 円	330,000 円	
理容師学科	120,000 円	580,000 円	330,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.chuo.ac.jp/tbm/schoolguide/disclosure		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
<ul style="list-style-type: none"> ・本校は企業等からの委員が参画した学校関係者評価委員会を設置する。 ・委員会は情報提供された資料をもとに評価を実施し、報告を受けた学校長は評価結果を教育活動その他の学校運営の改善に生かすとともに、その結果をホームページ等で公表する。 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
日本健康文化協会	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	企業
株式会社サロン・ド・ジュン	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	企業
ライフビューティー協同組合	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	企業
同窓会委員	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	卒業生
保護者会会長	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.chuo.ac.jp/tbm/schoolguide/disclosure		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.chuo.ac.jp/tbm/
--

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H110310000263
学校名（〇〇大学 等）	高崎ビューティモード専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人有坂中央学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		58人（－）人	54人（－）人	60人（－）人
内 訳	第Ⅰ区分	37人	34人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅱ区分	11人	14人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	7人	3人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－	－	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				0人（ 0 ）人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）		0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。		—	—
計		—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1		0人	—

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)		0人	0人
GPA等が下位4分の1		—	—
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況		—	—
計		10人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。